

## 【2018年スギ・ヒノキ花粉情報・品川区：ダーラム法(個/cm<sup>3</sup>)】

【トップページへ】

### 【2018年スギ・ヒノキ花粉予報 ー総括ー】

昨年(2017年)の気象は、東日本は天候が不順で、8月の日照時間が少なかったもの、7月は平均気温が高く、日射量が多かったことの影響を受け、スギ・ヒノキの雄花の発育は良く、2018年春は、南関東でも「昨年よりかなり多い」花粉飛散が予想されます。飛散数予測は、都内で、約5,800個(前年比150%)と見込まれます。

昨年(2017年)関東全体での平均花粉飛散は例年の約0.6倍と少なかったもの、都内(千代田区)の花粉数は3,948個と例年の0.9倍と、都心での花粉飛散は多い不思議な現象が起こりました。今春の都内で約5,800個という花粉予想数は、昨年の1.5倍になり、北関東では特に多く昨年の3倍をこえると予想される地域もあり、全体としては、「かなり花粉飛散の多い、手ごわい花粉シーズン」が来ると予想されます。

全国的に見ては、前年より多くなる見込みであり、東北南部から関東、東海にかけて花粉飛散量はかな多くなると予想されます。

これでの10年平均と比較しても、北陸で少なくなる地域があるもの、全国的に例年より多くなると予想されています。(参考データ:NPO花粉情報協会)

### 【飛散開始日】

飛散開始は、例年並みと予想されています。

2017年秋の気温は前半に高く、11月中旬から12月下旬にかけ例年より気温が下がり、この時期花粉は低温にされると休眠より早く覚醒するため、1月からの気温が例年なみと予想されていますが、結果としては、2018年のスギ花粉飛散開始は全国的に平年並みかやや早めとなり都内の花粉飛散開始日は2月10日すぎと予想されます。

### 【コメント】

#### 【初期療法について】

花粉の飛散してくる前から、早めに治療薬を使い始めて症状をなるべく出さない(程度を軽く、短くする)ことが可能です。

治療開始時期は、「飛散開始の約1週間位前から、あるいは、花粉を感じたらすぐ」を目安にして下さい。

【花粉データについて】当花粉の測定は品川区で測定しています。気象庁のある千代田区と品川区の花粉数は相関が高く、東京南部花粉数＝品川区と判断してよいと考えられています。2017年には環境庁が全国的な花粉飛散予測を実施しなくなり、東京都の花粉情報(とうきょう花粉ネット)も、2018年春で、花粉情報の配信を終了予定となっております。当花粉情報が、スギ花粉症の方々に、また治療にたずさわる医療関係者、研究者の方々のお役に立てることを願い、情報を広く公表してゆきます。宜しく願いいたします。また、この花粉情報は、都内で30年以上、ダーラム法で花粉観測を実施し公表している、遠藤耳鼻咽喉科・アレルギークリニック(花粉情報:<https://endo-jibika.com/>)のデータを公開しております。

### 【リンク】

- 1.東京都の花粉情報(とうきょう花粉ネット:[http://www.tokyo-eiken.go.jp/kj\\_kankyo/kafun/](http://www.tokyo-eiken.go.jp/kj_kankyo/kafun/))
- 2.環境庁はなこさん(<http://kafun.taiki.go.jp/>)
- 3.NPO花粉情報協会([pollen-net.com/](http://pollen-net.com/))
- 4.遠藤耳鼻咽喉科・アレルギークリニック(花粉情報:<https://endo-jibika.com/>)

### 【参考資料・過去のデータ】